

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020100		事業の種類	5		
年度	23	事務事業名	有害鳥獣対策事業		予算事業名	有害鳥獣対策事業	重要度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設経済部産業振興課			
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	中津 尚	担当者名	萩原 大樹	
取組み事項		田園を美しく守る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	鹿・猪等の獣害から農作物を守るため、防護ネット等の配布や、相生猟友会に依頼し、駆除を行う。						
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		

2 事業の概要 Do

実施の概要		近年、野生動物の農作物被害は大きな問題となっているため、兵庫県猟友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業を行う。					
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
	有害鳥獣駆除	回/年	3	2	2	2	
	防護柵設置	km	0	2	8	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.600	0.600	100	0.372	62	0.400	108	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	-	-	
支出内訳	人件費	5,153,125	5,110,038	99	3,252,324	64	3,369,900	104	
	事業費	978,400	3,350,457	342	10,000,833	298	3,720,000	37	
	合計	6,131,525	8,460,495	138	13,253,157	157	7,089,900	53	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	119,200	1,067,000	895	4,332,000	406	561,000	13	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,012,325	7,393,495	123	8,921,157	121	6,528,900	73	
合計	6,131,525	8,460,495	138	13,253,157	157	7,089,900	53		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目		21年度	22年度	23年度	24年度
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

4 評価指標

【有効性】

指標名1		鳥獣の捕獲頭数(猟期内、猟期外)							
指標説明(式)		猪・鹿の捕獲頭数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
頭	目標	100	440	440.0	470	106.8	500	106.4	
	実績	86	674	783.7	629	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		被害対策済集落数							
指標説明(式)		被害防護柵の設置完了集落数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
集落	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	23	23	100.0	24	104.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	シカ・イノシシ等の野生動物から農作物を守る施策として、防護柵等の設置は有効なことである。	4
	市の関与の妥当性	農作物のみならず、市街地においても出没するシカ・イノシシが増加傾向にある現状においては、市が率先して駆除活動及び防衛対策をするべきである。	
有効性	成果の向上	個体数が急増している現状においては、捕獲数を伸ばし被害の減少に努めている状況である。	4
	市民サービス	猟友会の頑張りにより年々捕獲頭数は増加傾向になっている。	
効率性	コストの節減	防護柵の設置については、県事業等の活用によってコストの削減に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	県下においても、年々シカ・イノシシの出没が増加しており各自治体単独での対策では不十分であるため広域での検討が必要となっている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	平成23年度においては、広域での取り組みとして捕獲したシカ肉の加工処理について検討を行った。次年度においては、学校給食への導入について検討を行う。

配点	32.5
総合評価	26